

フィリピン共和国

首都…… マニラ
面積…… 約30万km² (日本の8割の広さ)
人口…… 約7,650万人(2000年)
政体…… 立憲共和制
宗教…… 国民の83%がカソリック、その他のキリスト教10%、イスラム教5%など
元首…… グロリア・マカバガル・アロヨ
大統領



日本は米国に次ぐ貿易相手国

フィリピンは、およそ7,107の島々からなり、玄関口である首都マニラは、300年以上続いたスペイン統治時代の面影を残す数々の歴史的建造物や、南国情緒あふれる椰子の木々、一方では近代的な高層ビルが立ち並ぶなど、独特な魅力があります。また、セブ本島を中心とした島々はリゾートアイランドとして有名です。

フィリピンにとって日本は、米国に次ぐ貿易相手国です。かつては魚介類やバナナなどの一次産品が輸出の上位を占めていましたが、近年では半導体やワイヤーハーネスなどの加工製品が増大しています。対日輸出品目も大半が工業製品で、電子・電機部品、自動車部品などが上位を占めています。

IT関連の能力を広く知ってもらいたい

フィリピン投資委員会は、情報通



マクタン島のマクタン・ビーチ。美しい海は重要な観光資源でもある
(©日本アセアンセンター)

from the world
世界の国
から

フィリピン 共和国

Republic of the Philippines



ITに関する高度な能力をアピール

信、電機・電子ならびに自動車産業への投資誘致に重点を置いています。今回の滞在(6月16日~7月18日)では、特にIT・ソフトウェアに焦点を当てたプロモーションを行いました。この活動は昨年引き続きものですが、フォローアップとして以前訪問した企業

を今回も個別に訪問することにより、フィリピンへの投資や同国向けのアウトソーシングへの関心を改めて確認することができました。

また、滞在期間中、東京ビックサイトで開催された「ソフトウェア開発環境展」にフィリピンのIT企業がフィリピン・パビリオンという形で出展した際の「フィリピンITセミナー」や横浜で開催された「フィリピン投資セミナー」にも参加し、多くの日本企業と交流を持ちました。

高度な技術と豊富な人材が強み

IT・ソフトウェアに強みを持つ理由の第一にあげられるのが、豊富な人材です。フィリピンの家庭では、子どもの教育費に最もお金を使うというのが典型的であり、アジアでは日本の次に大学進学率



高層ビルが建ち並ぶ首都マニラの街並み (提供: フィリピン政府観光局)

が高いといわれています。毎年38万人が大学を卒業しますが、うち7万人が理工科系、10万人が会計なども含めたビジネス・経営分野の卒業生です。

ですから、他のアジア諸国と比べて労働集約的な点では競争力が低いかもしれませんが、高度な技術を要するIT・ソフトウェア関連の制作能力には強みがあります。

残念なことにフィリピンのIT関連の能力はまだ日本の企業に知られていません。この分野での投資をさらに誘致するために、帰国後も訪問先企業とは連絡を密にとり、彼らの要望に応じていきたい。また、フィリピンITの強みを広く知ってもらうためにも、何か疑問があれば気軽に質問してもらいたいと思っています。

リナ・E・バタロネス

フィリピン投資委員会

ワン・ストップ・アクション・センター課長

Ms. Lina E. Batallones

Division Chief

One-Stop Action Center

Board of Investments